

大学院進学というキャリアアップ

～内部進学者入試の紹介～

平成29年度入学者募集(入学試験は平成28年夏頃実施予定)から、大学院国際文化学
研究科に国際文化学部生を別枠として選考する「内部進学者入試」が新設されました。

なぜ今、大学院進学なのか



グローバル化が進展する 21 世紀、大学院レベルの高度な専門的知識がますます企業や
社会からも求められるようになってきています。今や大学院は専門的研究者をめざす人が
行く特殊な場所ではありません。例えば国際公務員など、海外で活躍するためには大学院
修了の資格が必要となります。また外資系やグローバル企業では修士号をもった海外学生
と対等に仕事をするようになります。

国際文化学研究科大学院に行くメリット

- ① **深い専門性の習得**：多くの学部生は、4年次になって自分のしたいテーマや深めたい専門知識に気
づきながら、就職活動に追われ、卒業を迎えます。残念ながら「大学で学んだ自分だけの知識や見方」
を、その後のキャリア・パスにつなげている人は少数です。大学院では自分だけの高度な「専門」を極
め、その後のキャリア・パスにつなげることができます。理系では専門技術職に就くために半数近く
が大学院に進学する状況があります。
- ② **大学院でも修士1年目から交換留学に行ける!**：交換留学はもちろん、海外大学と神戸大学
の二つの修士号を取得できるダブルディグリープログラムもあります。(ルーヴェン大学、浙江大学、
ナポリ東洋大学)。
- ③ **高い就職率**：大学院進学は修了後の就職活動に不利ではありません。国際文化学研究科は文系大学
院の中で非常に高い就職率を誇っています。
- ④ **学部にはない「外国語教育論」が学べる!**：大学院には、学部にはない「外国語教育論講座」
があります。外国語教育および日本語教育に関する先進的研究とその実践者の養成を行っています。



興味がある人は、**国際文化学研究科ホームページ** (<http://web.cla.kobe-u.ac.jp/prospective-g>) を参
考にしてください。あるいは国際文化学研究科教務学生係に相談に来てください。